

令和4年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
水産部門

「豊前海一粒かき」を守れ！－ひと手間と工夫で食害をシャットアウト！！－

○氏名又は名称 豊前海北部漁業協同組合恒見支所青壮年部（代表者 江口 一弘）

○所在地 福岡県北九州市

○出品財 技術・ほ場（資源管理・資源増殖）

○受賞理由

・地域の概要

北九州市は、県北部に位置し、豊前海に面した本地域は、魚類や甲殻類を対象とした刺網、小型底びき網や採貝漁業、貝類養殖などが営まれている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

豊前海北部漁業協同組合恒見支所青壮年部は、令和3年現在、11名が所属しており、部員全員がカキ養殖業を営んでいる。

・受賞者の特色

（1）「束ね垂下」によるクロダイの食害防止

豊前海の代表的な漁業であるカキ養殖において、平成20年頃からカキ稚貝のへい死が目立つようになった。原因究明のために漁場に水中カメラを仕掛け、垂下中のカキの様子を確認したところ、稚貝をついばむクロダイが確認され、クロダイによる食害防止に取り組むことになった。試行錯誤の結果、束ねて垂下したロープのカキは食害が少ないことが発見され、その後の検証によって束ねて垂下してもカキの成長に影響がないこと、高い食害防止効果があることが判明し、束ねて吊るす「束ね垂下」が広まっていった。

（2）「束ね垂下」の効果

「束ね垂下」によって筏1台当たりの収穫量が約1.5倍に増え、生産量の向上、維持に貢献している。また、当海区で養殖されたカキは「豊前海一粒かき」という名前でブランド化されており、生産力が安定したことで経営も安定し、全てのカキ養殖漁家において後継者が確保されている。

・普及性と今後の発展方向

本出品財は、恒見地区で開発されたものであるが、現在は豊前海全域で「束ね垂下」が実践されている。束ね垂下は技術的に容易でコストも労力もほとんどかからないことから、他産地への普及も期待される。当海区では生産物の高い品質をもたらす海洋環境の維持への意識が強く、漁場の拡大は考えていないが、新型コロナウイルス感染症のような事態に対応するため、長期保存可能な加工品開発などに取り組んでおり、豊前海の良好な環境を維持しながら新しい試みも続けていく姿勢は高く評価できる。